



Be the **Right ONE**

第101期 中間報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで

目 次

株主の皆さまへ	1
特集 カーボンニュートラル実現への 取り組み	3
財務ハイライト(連結)	5
各事業の概況(連結)	7
事業トピックス	10
Global Vision達成に向けた取り組み	11
IRインフォメーション	12
とよつうNOW ～新しい働き方、オフィス改革～	13
会社情報、株価/出来高、株式の状況	14



株主の皆さまへ



取締役社長

貸谷伊知郎

拝啓 平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第101期上半期(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の事業内容をご報告するにあたりまして、ご挨拶申し上げます。

まず初めに、新型コロナウイルス感染症により、世界各国でお亡くなりになられた皆さまに謹んでお悔やみを申し上げますとともに現在も闘病中の皆さまに心よりお見舞いを申し上げます。また、医療関係をはじめ命と生活を守るために最前線でご尽力されている皆さまに心からの敬意を表します。

さて、豊田通商グループの当上半期の業績につきましては、売上総利益は3,634億円、営業活動に係る利益は1,494億円となりました。また当期利益(親会社所有者帰属)は前年同期比859億円増益の1,275億円となりました。なお、4月28日に公表しました通期業績予想に関し、当上半期の実績及び今後の見通しを踏まえ、10月29日に業績予想と配当予想の上方修正を実施しております。詳細につきましては、5ページをご覧ください。

この結果、配当金につきましては、中間配当金は当初予想の60円から10円増配の1株当たり70円とし、支払開始日を11月26日とさせていただきます。

また、期末配当金も当初予想の60円から10円増配の70円へ上方修正しており、これにより1株当たりの年間配当金は前事業年度に比べて28円増配の140円となる見込みです。

豊田通商グループは、2021年4月1日に、「未来の子供たちへより良い地球環境を届ける」というミッションの下、全社横断組織となるカーボンニュートラル推進タスクフォースを設立し、産業ライフサイクルを通じて温室効果ガス(以下GHG)排出削減に貢献する事業を、全社レベルで加速・推進しています。そして7月には、サステナビリティ重要課題(マテリアリティ)として掲げる「脱炭素社会移行への貢献」に向けた具体的な方針として、豊田通商グループの事業活動を通じたGHG排出量を削減し、2030年に2019年比50%削減すること、2050年には実質カーボンニュートラルとする目標を策定しました。

カーボンニュートラルは企業が果たすべき責任であるだけでなく、企業の将来の成長を二分するリスクであり、新たなビジネスチャンスでもあります。豊田通商グループは、GHGを排出しない再生可能エネルギー事業に積極的に取り組み、世界の脱炭素化をリードしていくとともに、エネルギー移行に欠かせないバッテリーの供給、循環型静脈事業、バッテリーの3R(リビルト・リユース・リサイクル)、水素・代替燃料事業など、GHGの削減に資する事業を積極的に伸ばすことで、世界の脱炭素社会への移行に貢献していきます。

豊田通商グループをご理解いただき、ご支援くださっている株主の皆さまに心より感謝申し上げますとともに、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

敬具
2021年11月